

第2回 助成担当者のための研修交流会 を開催しました。

助成原資を「集める」編～市民活動を支える多様な資金調達をめざして～

開催日時：2024年2月15日（木）13時30分～16時45分

開催場所：全国労働金庫協会 会議室

【開催概要】

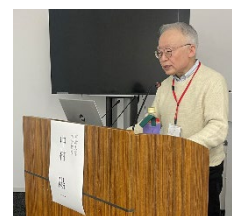
このたび「第2回 助成担当者のための研修交流会」を開催しました。プログラムの内容は「第1部 基調講演」「第2部 多様な資金調達の実践事例から学ぶ」「第3部 グループ交流」と3部構成になっており、また参加者は47名（会場33名、オンライン14名）でした。参加者層は助成団体、NPO、中間支援組織、大学生など幅広く、質疑も含め活発な議論で盛り上がりました。

終了後のアンケートからはこのような機会や場を求める声も多く、市民社会創造ファンドでは引き続き、研修交流会を企画・開催していきたいと思えます。

【プログラムの内容】

■第1部 開会挨拶・基調講演

基調講演では、当団体理事でもある中村陽一氏（立教教授 名誉教授）より「市民活動を支える多様な資金調達をめざして—未来に歓迎される生き方・働き方をデザインする発想—」についてお話いただきました。

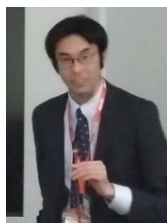


中村氏

■第2部 多様な資金調達の実践事例から学ぶ

次の3名にご登壇いただきながら、各テーマでの実践事例を通し意志ある資金源についてのご報告をいただきました。

- ・前田 昌宏氏（日本生活協同組合連合会 組織推進部 社会・地域活動推進部 地域コミュニティグループグループマネージャー）
- ・八木 明彦氏（宮城県共同募金会 業務課長）
- ・実吉 威氏（公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 代表理事）



前田氏



八木氏



実吉氏

進行は山口 郁子氏（一般社団法人 全国労働金庫協会 政策調査部部長）にご協力いただき、後半では、NPO活動の現場より次の2名にご登壇いただきました。

- ・小野 晴香氏（認定NPO法人 ピッコラーレ 事務局長）
- ・栗林 知絵子氏（認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長）

日々の現場や運営を通して、助成団体を通じた資金源をどう活かしているのか、また資金提供者に対する期待を熱く語って頂きました。



左から、山口氏、栗林氏、小野氏



オンライン参加の皆様からもコメントがありました

■第3部 事例報告と意見交換を踏まえて共に語ろう

ここではグループ交流を実施しました。事例報告者別の3グループに分け、各グループには当ファンドの理事も加わり、活発な意見交換の機会となりました。グループ交流の最後に、それぞれのグループ内の話題・議論内容を共有し、会場全体で情報交換を行いました。



グループ交流

閉会は、当団体理事でもある阿部陽一郎氏（社会福祉法人 中央共同募金会）にご挨拶を頂き、第2回研修交流会を締めくくりました。



阿部氏

+++事務局より+++++

研修交流会終了後に交流会を行い、理事長・山岡からの挨拶の中に「創造には破壊が必要なんだよ」という言葉がありました。第2回の研修交流会では助成する側/される側に収まらない、これからの市民社会を作り上げていく「語り合い」の新展開に向かう良い機会になったように感じています。

また、一般社団法人 全国労働金庫協会の皆様のご協力なくして今回の開催は叶いませんでした。会場提供と運営サポート等をいただき、厚く御礼申し上げます。

次回開催は2024年夏頃を予定しております。実りある研修交流の機会となるよう、努めていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

市民社会創造ファンド スタッフ一同

2024年3月

会員の募集

市民社会創造ファンドは会員募集しております。
市民活動助成を通してこれからの市民社会を創造していくためには皆様の応援が欠かせません。
何卒よろしくお願いいたします。

正会員：1口10000円、

賛助会員：1口5000円

※年会費は10月1日より翌年9月30日までの1年分です。

詳細はこちら (<https://civilfund.org/cooperation/>)



主催：特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 協力：公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団、一般社団法人 全国労働金庫協会

後援：認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons、特定非営利活動法人 市民活動センター神戸、一般社団法人

社会デザイン・ビジネスラボ、公益財団法人 助成財団センター、認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター